



好学愛知  
自律敬愛  
質実剛健

# 鶴丸イ言

## かわいい子には旅を

教頭 小島 健志

嘘か本当かは分からないが、海外のチームに所属する有名サッカー選手のエピソードとして、「なぜそんなに言われたとおりするんだ」と指導者に叱られたという話を聞いたことがある。

なぜだろう、真偽は分からないが納得してしまう。何でも素直に「はい」という人は、良い人として賞賛される。確かに、人が嫌がることを「はい」の一言で引き受けてくれる人は、重宝されるし、素晴らしい人として誰かの記憶に残る。特に中学生、高校生までは「他者の意見に素直に耳を傾けることができる人」が、勉強でも部活動でも抜群に伸びていく。それもゆるぎない経験上の事実として確かだ。経験が少ない分を助言により補い、自分のものとしていける人が他者より優位に立っているのだらう。

ただ、それはいつまで必要か。いつまで「はい」の一言で言われるがまま動けばいいのか。すでに違和感を持っている鶴丸生も多々いるのではないかと。また、言う側の我々はどうか。教師であり、時に親でもある我々はいつまで言えはいいのか。

サッカーでいえば試合中は「判断」の連続となる。横から見ている監督・コーチとフィールドに立つ選手が見ている景色は違う。ずっと指示を出し続けるのは、オーバーコーチングではないか。瞬時の判断が必要な選手はいちいち指示を待ってられない。

自らが判断をしなければならぬ。そう考へると、選手の判断を奪い、すべてに口を出すことが選手育成に結びつかないのは明らかだ。18歳成人となった今でも、自分で判断させようと思わず、すべてをコントロールしようとしていないか。「とんでもない、できるだけ考え、選択、判断させるようにしていますよ」とむきになって答える人ほど怪しい、と思ってしまう。  
実は私自身、自分の言うことを聞いていれば大丈夫、と長い間思い上がっていた。

## 11月の行事予定

日	曜日	行事	学年
1	火	県民週間(～11/7) 3年実力考査時間割発表	0
2	水	文化講演会(午後)	0
3	木	文化の日 旗大・神大・北大・東北大 大プレ(河合塾) 旗大プレ(北守備)	X
4	金	選挙引継会	0
5	土	遠研模試(1・2年) 遠研マーク模試(3年)	X
6	日	遠研模試(2年) 遠研マーク模試(3年)	X
7	月	いじめ問題を考える週間(～11/14) いじめ問題を考える1日	45分 0
8	火	ロードレース大会(1・2年) 3年実力考査(1日目)	3年考査 X
9	水	3年実力考査(2日目)	3年考査 0
10	木	学校安全の日	0
11	金	定期教育相談(～11/22) 教育相談① 選挙引継会	45分 0
12	土	旗大プレ(代ゼミ)、京大プレ(旗台) 九大・東大プレ(河合塾)	X
13	日	旗大プレ(代ゼミ)、京大プレ(旗台) 九大・東大プレ(河合塾)	X
14	月	全校総会 教育相談②	5分週45分 0
15	火	教育相談③ SC来校(見玉先生 13:30～17:30)	45分 0
16	水	教育相談④ 集団読書(1, 2年)	45分 0
17	木	SC来校(大島先生 13:30～16:30)	45分 0
18	金	教育相談⑤ 選挙引継会	45分 0
19	土	修学講座①	X
20	日	旗大プレ(旗台塾 公開会場)	X
21	月	学年総会 教育相談⑥	5分週45分 0
22	火	教育相談⑦ 中間考査・卒業考査時間割発表	45分 0
23	水	勤労感謝の日	X
24	木	中選挙	午後10分週 0
25	金	選挙引継会	40分 水曜放時 0
26	土		X
27	日		X
28	月		0
29	火	中間考査・卒業考査(1日目) SC来校(見玉先生 13:30～17:30)	考査 X
30	水	中間考査・卒業考査(2日目)	考査 X

↑発行時の予定です。変更にご注意ください。

「もったいなくしろ」とは言ったが、「こういう方法もあるがどうする」と聞いたことはなかった。自分の狭い経験、そこそこの実績を根拠に、正解らしきものを押しつけることが多かった。ある日の部活動中、先輩教師に「できないのは選手が悪いのか、それとも指導が悪いのか」と言われ、はつとそれこそこの結果で満足して、その先のことまで考えず、もっと伸びる可能性があったのに、このぐらいで満足しようになったから……と思ったのは生徒ではなく自分自身ではなかったか。まだ足りない生徒が思えるように指導したか、もう十分だ、勘弁してくれ、と思うほど無理をさせていたら、手を離れた途端に辞めてしまう。教学一如、現在盛んに言われる「指導と評価の一体化」に遠く及ばず、悪いのは選手生徒、と思いつつ……。

教員として駆け出しの頃、「生徒の3倍勉強して、3分の1教えろ」と先輩に教わった。その時はその時で納得したが、今はまた少し違うニュアンスで響いてくる。困ったときに何を判断するか、その選択肢を増やすことが我々の役目だ。自戒を込めていますか。

そして生徒諸君。自ら判断していますか。AIを含めた他者の意見は参考になります。しかし、選択し決断するのは自分です。勉強しろと言われなければ勉強しない、掃除しろと言われれば掃除しない。その判断は正しいですか。時には休めと言われなくても、誰が何と言おうと、休む。その判断も自分でやるからこそ意味があります。

## 3年ぶりの校内開催 生徒の個性輝く 第74回文化祭

10月8日(土)、第74回文化祭が開催されました。昨年度までは学校外の施設での縮小開催が行われていたが、今年度は3年ぶりに校内開催が実現し、各クラスの展示発表やステージ発表が実施されました。前日までの準備期間には、各教室で展示物の制作に勤しむ生徒たちの笑顔がはじけ、クラス一丸となって準備に取り組み姿が多く見られました。

今年のキャッチフレーズは、34R福嶋優莉さんが考案した「Time flies, Take action」に決定しました。開会行事では生徒会によるオープニングムービーが放映され、「恋するフーチョンクッキー」の曲に合わせて各クラスのダンスの様子が放映されました。その和気藹々とした雰囲気、会場は大いに盛り上がり、文化祭の幕開けに際し大きく期待感を高めています。

ステージ発表の部では、放送部が毎年恒例の「からいも標準語講座」で会場の笑いを誘った他、ダンス部、書道部、音楽部、演劇部がそれぞれ創意工夫をこらした素晴らしいパフォーマンスを行い、会場を魅了しました。各クラスのステージ発表では、不朽の名作を学校を舞台に編み直し、いじめのない学校生活の主体的な実現を訴えた13Rの「レ・ミゼラブル feat. 13R」、セリフ、ナレーションの全編英語化のみならず、衣装や小道具にも細部までこだわりを見せた22Rの「忙しい人のためのアラジン」の2作品が上映されました。短い準備期間にもかかわらず、その完成度の高さに会場からは驚きがあふれるとともに、「来年度は自分たちもステージに挑戦したい」という新たな思いをもった生徒も多く見られました。職員ステージはコロナ対策のため人数を制限して実施され、上村英治先生、西島真吾先生、上村萌先生による歌とピアノの演奏が会場の盛り上がりには花を添えました。



特別参加団体によるステージ、各クラスや部活動の展示観覧の後は、生徒は再び会場に集合し吹奏楽部のステージを鑑賞しました。迫力ある美しいアンサンブルに会場の盛り上がりは最高潮に達し、文化祭は無事に閉幕を迎えました。

3年ぶりの校内開催に際し、当日まで生徒会執行部を中心に、放送部、各クラスの実行委員が互いに協力し、準備に大変な努力を見せられました。少しずつ日常が戻りつつある今、来年度も無事に文化祭が開催されることを望む声が多く聞かれました。

## 後期生徒総会・立会演説会

10月19日(水)、後期生徒総会・立会演説会が実施されました。後期生徒会長には前期に引き続き25R犬塚母菜さんが立候補し、投票の結果賛成多数により承認されました。

第3号議案「55分完全着席」を考案しているのは、各クラスから多くの意見が出されました。活発な意見交換を通して、生徒全員がルールや時間に対する意識を高めることができようというのです。



## 令和4年度 三年生を激励する会

10月25日(火)、宝山ホールで令和4年度三年生を激励する会が開催されました。今年度は古典芸能として、落語・英語落語・マジックの上演が行われました。顔の向きの変化や扇子と手ぬぐいによる見立てによって鮮やかに展開されるプロの話芸に、生徒たちは一瞬で引き込まれていました。スライドトークやマジックの技の一つ一つにも会場からは笑いや歓声が上がり、演者の皆さんも生徒の反応の良さに大変感心されていました。

芸術鑑賞の後は、三激委員により3年生へ三激カードが贈呈され、2年生代表として27Rの上浦大空さんから激励の言葉が贈られました。3年生代表挨拶は35R小平悠月さんが務め、アフリカの王バカバの話に例え、自分たちの努力を「これでいいのだ」と肯定していこうと、力強く学年の団結を呼びかけました。

